

第 15 回運営推進会議 議事録

令和 5 年 9 月 22 日 No.1

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」
開催日時	令和 5 年 9 月 22 日 14:00～15:00
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂
参加者	利用者 1 名 知見を有する者 1 名 利用者家族 1 名 地域包括支援センター 1 名 地域住民の代表 1 名
議題	1 運営推進会議の目的 2 運営状況 3 主な活動 4 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み 5 熱中症対策に関する取り組み 5 事故報告 6 BCP(事業継続計画)策定への準備の実施について 7 運営委員からの評価、質疑応答

会 議 録

1. 運営推進会議の目的

地域に開かれたサービスや、介護保険サービスの質の確保を図ることを目的とし、利用者様やその家族、地域住民の代表などに、提供している介護サービスの内容をご説明します。出席者の皆様にはサービスの内容に対して意見を頂いたり、事業所に対する要望や 助言等忌憚のないご意見を頂戴したりしたいと存じます。

2. 運営状況

(1) 利用定員 午前・午後各 13 名

1日平均利用者人数 午前 8名、午後 5 名 (8 月 31 日現在)

(2)提供時間 3 時間 5 分(午前 9:10～12:15 午後 13:10～16:15)

(半日型・機能訓練特化型・入浴、昼食対応可能)

(3)利用者の状況(令和5年 8 月 31 日現在) 利用者人数: 41 名(男性 14 名・女性 27 名)利用休み中 5 名

対象者 要支援 1: 0名 要支援 1: 0名 要支援 2: 0 名

要介護 1: 7 名 要介護 2: 18 名 要介護3: 14 名 要介護4: 2 名 要介護5: 0名

※今期はコロナ感染によるお休みは 1 件のみ、その他の体調不良によるお休みや、入院、入所によるお休みや中止が多く見られました。また、今年の夏の猛暑から外出を控えたいとの理由でお休みされるご利用者様もいらっしゃいました。

そのため結果として引き続き少ない利用回数となりました。今期も特に暑さが厳しく、水分補給や冷房の使用の呼びかけを継続しています。

※コロナが第 5 類の扱いになったとは言え、コロナ感染は現在も増加しており、身近なところでの感染の報告を受けております。事業所としては基本的な感染対策を引き続き実践し、熱中症対策と共に安全な環境作りを継続していきます。

- (4)加算 個別機能訓練加算ⅠまたはⅡ 入浴加算(希望者のみ) 口腔機能向上加算Ⅰ(希望者のみ) 中重度者ケア体制強化加算 処遇改善加算Ⅰ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ ベースアップ支援加算

3.主な活動

・機能訓練指導員による個別機能訓練、ご利用者様のレベルに合わせた脳トレの実施。

・口腔機能向上サービスの実施一月2回

(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービス看護師による指導)

※口腔機能向上に関する情報提供、口腔体操、嚥下体操、歯磨き支援などの口腔ケアの実施。半年に一度、口腔機能検査を実施し、口腔機能低下症から向上が見られたご利用者様は卒業となり、その後半年に一度の検査により維持がされているか確認を行います。7月に実施した検査では、1名が卒業となりました。山梨県の指針でも、口腔内の清潔や機能の向上により、誤嚥性肺炎や心疾患、歯周病からくる認知症など、身体全体の健康に影響するとして推奨しています。今後も口腔機能向上に向けて活動を継続していきます。

・手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成

季節に合わせた桜、紫陽花などの貼り絵、塗り絵、工作など

・外出レク

コロナ感染防止を配慮しての外出レクリエーションの実施。

小瀬公園へ桜見物、桜町商店街へ出品した七夕飾り見物、武田神社へ蓮の花見物、勝沼ハーブ園ドライブなど

・日常のレク活動について

みんなで取り組めるゲームとしてトランプやかた取り、手作りカードによる神経衰弱、脳トレを兼ねたレク活動ではホワイトボードを活用してクイズやなぞなぞ、とんち問題などを楽しんでいます。

また、最近では体を動かす風船バレーや玉入れ、ボール体操、タオル体操などを行っています。

・避難訓練

R5年9月20日15:00～ 震度6地震発生、その後火災発生を想定した訓練を実施

4.新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み

・最近ではマスクの着用が緩和され、着用は個人の判断にて選択できるとされていますが、医療機関や高齢者施設においては重症化リスクが高い人の感染防止のため、着用を推奨するとの方針となっております。

職員は引き続きマスク着用にて業務にあたっております。ご利用者様につきましても強制ではないものの引き続き着用していただくよう、説明やお願いをしております。

・ご利用者様にはお迎え時、デイに到着時に検温をさせていただきます。

(37.5℃以上)が見られた場合には来所を控えていただきます。

・職員もご利用者様同様、毎日2回の検温、発熱が認められた場合には出勤停止とします。

・手洗い、うがいを徹底します。

・職員は入浴介助時にフェイスシールド・マウスシールドを使用します。

・定期的な部屋の換気(30分に1回または1時間ごとに時間を決めて5～10分)を行います。

・エアドッグ(空気清浄機)を導入しています。

・室内の消毒をします。

(椅子・テーブル・テーブルの淵・手すり・水回り・平行棒・ドアノブ他)

・会話に伴う飛沫感染防止のためのアクリル板を設置します。

- ・送迎車の送迎前後の消毒をします。(ドア・ハンドル・手すり・シート等)
- ・職員は普段より栄養をしっかり摂り、十分な睡眠を心掛けます。
- ・必要に応じて抗原検査を実施します。

5.熱中症対策に対する取り組み

- ・経口補水液やゼリーを常備し、バイタル測定により体温の上昇や血圧の上昇、体調不良など水分不足が疑われる場合にはすぐに水分補給を行い、体調確認を継続します。
- ・ご自宅でも定期的に水分摂取、適切に冷房を使用していただくよう声掛けを行っています。

6.事故報告 2件

R5.5.19

【内容】私物の破損…あるご利用者様の入浴中、隣の席の認知症のあるご利用者様がテーブルに置いてあった補聴器を分解し、壊してしまいました。

【対応】両者のケアマネジャー、ご家族に電話にて報告、その日のうちに管理者がご家族のお宅へお詫びに伺い、現物をお見せして今後の対応について修理または新しく購入するかご検討いただくこと、自社で保証も行う予定であることを説明する。(最終的には新しい補聴器を購入され、自社で購入代金の保証を行った)

【今後の対応】入浴などで席を外す際には、補聴器だけでなく時計などの貴重品についても決められたケースに入れて職員が一時預かりや保管を行い、紛失や破損を防ぐようにする。

R5.8.4

【内容】転倒…ご利用者様が機能訓練のため席を立ち、平行棒へ移動時、職員が両手引き歩行を行ったがバランスを崩し、尻もちをついてしまった。

【対応】平行棒に近い場所に移動し、疼痛や打撲がないか確認した。疼痛や内出血もなかったため様子をみることにした。担当ケアマネジャーに報告をした。

【今後の対応】小脳の障害の特性として狭い場所や物の置いてある場所などはバランスを崩しての転倒をしやすいことを理解、共有し慎重に移動介助を行うようにする。

※事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うとともに、発生したその日のうちに職員間でミーティングによる原因対策の話し合いを行い、再発防止に努めています。

6. BCP(事業継続計画)策定への準備の実施…2024年3月までに対応が義務化

感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点からすべての介護サービス事業者を対象に業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練(シュミレーション)等の実施等が義務付けられました。

7.質疑応答

(南地域包括)

- ・半日型のデイは少なく、半日の中でも入浴や機能訓練といった特性があり、一日型デイとは違う良さがある。

*質問

- ・コロナ感染拡大の時期にお休みされていたご利用者は現在どのくらい戻ってきていますか？
→ほぼ全員が戻りましたが、残念ながら再び感染が増えてきているため、お一人当分お休みされる予定です。
- ・コロナ感染拡大の期間、お休みされていた方々は何か変化は見られましたか？
→お変わりない方もいらっしゃいましたが、下肢筋力や認知機能の低下が見られた方もいらっしゃいました。
デイサービスに通い、継続的に機能訓練や脳トレを行うことは、ご利用者様の機能の低下を防ぐためにも必要なことだと感じました。
- ・感染拡大の期間と現在ではご利用者様のお休みについてどのように違いますか？
→現在は感染の予防でお休みされる方はお一人のみで、ほぼ再開されています。感染の拡大もなく、ワクチン接種や受診、体調不良や入院など、別の事情でのお休みをされています。感染防止策は続いています、この夏は特に猛暑が続き、熱中症で体調を崩すことのないよう気を配りました。
- ・サ高住のご利用者様と、外部からのご利用者様では割合はどのくらいですか？
→サ高住が約3割、外部からが7割くらいです。(利用回数)

(有識者)

- ・半日のデイサービスで、入浴や機能訓練、昼食が食べられるなどうれしいサポート付きで特徴があり、比較的遠方(市内)からもご利用者様が来られていますね。コロナやインフルの流行についても対策がすばらしく、今後も継続していただきたいと思います。事故報告もきちんとされていますし、その日のうちに対策を考え共有していくということも良い取り組みですね。口腔機能向上の活動についてはとても興味深く、私共のデイサービスでも参考になると思いました。ご利用者様も色々な方がおり、「愛」を持って接していくことが大切と日々感じます。

(ご家族代表)

- ・口腔機能向上の取り組みはとても良いと思いますし、今後もぜひ継続して欲しいです。母がサ高住にいて、日中も深く寝てしまっている、時間を見ながらちゃんと起こして連れて行ってくださっていてありがたいです。
道具を使った体操もとても良いと思います。新聞紙と使って片手で丸めるようなことも手指の訓練になりますので参考にしてもらえたらと思います。

*質問

- ・災害時についてはどのようになっていますか？備蓄として食料などは確保されていますか？
→はい、食料や水の数日間の備蓄は用意されています。地震や火災については外へ避難ということになり、訓練を行っていますが、水害時の避難については現実的に南校までの移動は難しいと考えており、垂直避難として隣の本部2階への避難ということもあると考えています。地区のハザードマップも活用しており、住吉地区は約1.2mの浸水と聞いております。

(ご利用者様代表)

- ・コロナには気を付けなくてはいけないと思う。デイサービスではカラオケをしたり、お風呂にも入れたりして良いと思います。

(地域の代表)

- ・地域の活動については全ての行事をストップしておりましたが、去年は役員だけで避難訓練を行いました。

今年は11月に本格的に訓練を実施する予定です。本自治会は南高校が避難所となっています。すみよしさんは7組の所属になると思います。今回の日吉神社の不審火による火災ではご迷惑をおかけしました。気候の変動については昔とは違っており、いつどのような災害が起こるかわからない、地区の備蓄についても山城小など、多くの準備があります。デイサービスすみよしさんとグットハウスのサ高住でも半年に一回の訓練を実施しているとのこと、非常時に慌てることのないよう、こういった訓練は意義があると思います。同じ地区であってもこの施設のことは良くわかりませんでした。今回このような機会が持ててとても良かった。自治会でも今回の内容について報告したいと思っています。

次回 運営推進会議開催時期 令和6年3月頃予定

